



きょうせいだより 第2号

法務省 福岡矯正管区 更生支援企画課

令和元年8月号

前は、刑事施設や少年施設等について御紹介させていただきました。
今回は矯正施設に勤務する職員や私達の取組について御紹介します。



■ 刑務官

刑務所、少年刑務所及び拘置所に勤務し、被収容者に対して日常生活の指導、職業訓練指導、改善更生に関する各種指導を行うとともに、施設内の保安警備に当たります。

刑務所等で勤務する刑務官の業務は複雑多岐に渡りますが、その大部分は「人」にしかできない仕事です。困難な業務も組織として対応し、国民の期待に応えるべく、24時間体制で業務に当たっています。

■ 法務教官

少年院や少年鑑別所等に勤務する専門職員です。

幅広い視野と専門的知識をもって、少年たちの個性や能力を伸ばし、社会復帰させるためにきめ細かい指導・教育を行っています。

また、刑事施設（刑務所、少年刑務所及び拘置所）に勤務し、受刑者の改善指導等に携わることもあり、性犯罪や薬物依存等に関わる問題に働きかける指導のほか、就労支援指導や教科指導等を行っています。

■ 法務技官(心理)

少年鑑別所や刑事施設（刑務所、少年刑務所及び拘置所）、少年院などに勤務する専門職員です。

心理学の専門的知識・技術を生かし、面接や各種心理検査を行い、非行や犯罪の原因を分析し、対象者の立ち直りに向けて、処遇上の指針の提示や、刑務所の改善指導プログラムや少年院の各種プログラムの実施に携わっています。



矯正施設ではこの他に様々な専門的知識・技術を有する職員が働いています。高齢者や障がい者の社会復帰を支援団体等と連携して支援をする社会福祉士や精神保健福祉士、臨床心理士等の資格を活かして改善指導を行う処遇カウンセラー、キャリアコンサルタントの資格を生かして就職の支援を行う就労支援スタッフ等がいます。

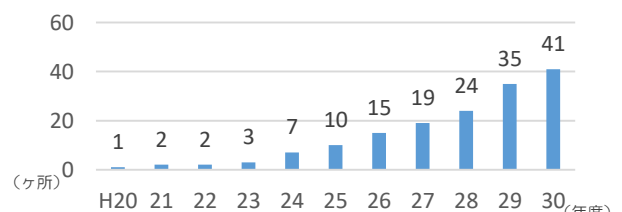
こんな取組も！！

■ 地域と連携した防災対策の推進

大規模災害が発生した際における地域支援を適切に行うため、各刑事施設において、地域の自治体等との連携体制の構築や避難場所の提供といった地域と連携した防災対策を推進しています。

職員待機所や訓練所等を「避難場所」として提供し、平成28年の熊本地震の際には、給水支援や炊き出し等を行いました。

防災協定締結施設(刑事施設)数の推移



東日本大震災(H23)以降、協定締結施設数が**増加**
熊本地震(H28)以降は**更に増加が加速**

ご存知ですか?? 「法務少年支援センター」

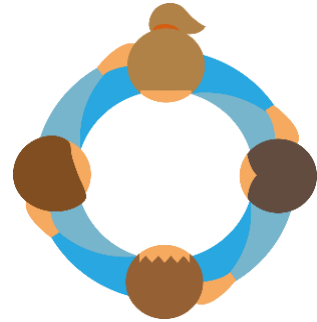
少年鑑別所は非行少年を収容して資質鑑別を行うほか、「法務少年支援センター」という名称で、地域社会における非行及び犯罪の防止に関する援助を行っています。少年鑑別所が持っている少年非行等に関する専門的知識やノウハウを生かし、地域の方からの相談に応じています。少年、保護者からの相談に応じるほか、関係機関・団体等との連携を図りながら、非行・犯罪の防止に関する活動に取り組んでいます。

年齢に関係なく、どなたでも相談できます（相談は無料です）。

■主な支援の内容

- 子供の能力・性格の調査
- 問題行動の分析や指導方法の提案
- 子供の保護者に関する心理相談
- 事例検討会等への出席
- 法教育授業等
- 地域の関係機関等が主催する協議会等への参画
- 成人に対する心理相談、問題行動の分析
- その他

例えば...



お電話で予約・相談を受け付けています。共通のダイヤルから、お近くのセンターに直接つながります。

全国共通ダイヤル
0570-085-085



再犯防止シンポジウムが開催されました！！

7月13日（土）、東京で中央ブロックの再犯防止シンポジウムが開催されました。

再犯防止シンポジウムとは、「再犯防止推進計画」の具体的施策「啓発事業等の実施」の一環として、犯罪をした者等の再犯の防止等について、国民の皆さんの関心と理解を深めていただくために行われるものです。「依存の問題を抱える犯罪をした者等の支援の在り方」を統一テーマに、全国を8つのブロックに分けて地域の実情を踏まえたブロック別再犯防止シンポジウムを実施していきます。



講演

依存症家族の現実 ～再犯防止のために何ができるか～

おおたわ 史絵 / 総合内科専門医、酒類の診療のほか、片断所でも診療に当たる。自身も依存症者の家族であった経験を持つ。「情報ライブ ミヤネ屋」(日テレ系)ほか、メディア出演多数。

依存症からの“回復”とは？

成瀬 暢也 / 精神科医、埼玉立精神医療センター副院長、日本でも数少ない依存症治療の専門医。著書に「アルコール依存症治療法」(中外医学社)、「薬物依存症の回復法」(ナドブック)、「酒類、薬物、依存症への手引き」など。

パネルディスカッション

依存症からの“回復”を支えるために

大嶋 栄子 / NPO法人リカバリー代表、母の依存症治療を学ぶ女性支援に携わる。著書に「愛と責任を全うする人として」(リカバリー)の15年経ちし追記あり。

近藤 彩砂 / 精神科医、埼玉立精神医療センター精神科医、児童虐待相談対応員、児童虐待相談員、児童虐待相談員研修講師。

加藤 輝 / 元福岡県庁職員、特定非営利活動法人生活デザイン教育センターとして、薬物依存症からの回復を目指す人々の支援に携わる。

成瀬 暢也 / 埼玉立精神医療センター 大嶋 栄子 / 法務省矯正局

最新刊の書籍から選りすぐりのリストへの寄稿を事前にお受けし、収録の予定です。パネルディスカッションで取り上げる予定です。どんなことでも大歓迎ですので、お申込みの際にぜひお寄せください。

古澤 吾郎 / ノーシャルワーカー、日本労働組合総連合会がボストン・ストリートワークス提供、海外からの依存症者への帰国に際し、弁護士に「ホームドクター」は特別(中外医学社)。

今回は、総合内科専門医のおおたわ史絵先生と埼玉県立精神医療センターの成瀬暢也先生が講演され、現場でご活躍中の方々をお迎えしてのパネルディスカッションが行われました。

九州ブロックでは、**12月16日（月）**に福岡市東区のなみきホールでシンポジウムの開催を予定しています。現在、着々と準備を進めておりますので、詳細が決まりましたら、またお知らせ致します。

質問やご意見、取り上げてほしい事項などありましたら、当課までお気軽にお寄せください

福岡矯正管区 更生支援企画課
福岡市東区若宮5丁目3番53号
TEL: 092-661-1143
FAX: 092-663-1001
メール: kouseishien-fukuoka@cccs.moj.go.jp